



SENAを
もっと

便利に使う

TIPS Vol.4

Q インターコム通話中にスマホからのナビ案内や音楽を聴きたいのですが…

A オーディオマルチタスク機能を活用しましょう！

主な対応
モデル

SRL,30K,20S

オーディオマルチタスク機能を使うメリットは？

いままでは、音楽やスマホナビの案内を聞いている時、インターコム通話をしたときはボタントップでインターコムに切り替える必要がありました。またインターコム通話中は、スマホからの音声は一切入ってきませんでした。オーディオマルチタスクは、このインターコム通話とメディア音声を同時に聞くことを可能にする機能です。つまりナビや音楽を聴きながら、同時にグループ会話ができるようになります。お気に入りの音楽を聞いている途中にインターコム通話が入る時も、インターコム通話中に大切なナビ案内が入る時も、お互いを遮ることなく同時に聞こえてくるので安心です。

どのような仕組み？

20S、SRL、30Kはデュアルチップ、つまり通信用のチップを二つ搭載、一つをインターコム通話用、もう一つをメディア（音楽、ナビアプリ）用とそれぞれ用途を分けています。20SやSRLはBluetoothチップを2枚、30Kの場合、MeshチップとBluetoothチップを各1枚搭載しています。この構造によりグループインターコム通話中に、アプリ音声や音楽を同時に聞くことができる、オーディオマルチタスク機能が実現しました。

使う場面は？

ツーリングのリーダーは、スマホのナビ案内を聞きながら、リアルタイムでメンバーに指示を出すことができます。タンデム相手とは、同じ音楽を聴きながら、楽しく会話が弾みます。

一度オーディオマルチタスク機能の便利さに慣れてしまうと、手放せなくなるかもしれません。



注意点は？

オーディオマルチタスク機能の特性として、インターコム通話中、スマホナビや、音楽音量は小さくなります。しかしナビの道案内など聞き逃したくない場合、オーディオオーバーレイをオン（有効）にしてください。通話中も音量が下がることなくナビ案内が聞こえてくるようになります。

モデル別にオーディオマルチタスクが有効なインターコム通信が決まっており、20S、SRLは、Bluetoothインターコム通話中に機能し、30Kの場合はMeshインターコム通話中に機能します。